カトリック 福岡教区報

ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　山元　眞
TEL　092-522-4059
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　1部70円

11月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

【教皇の意向】苦しんでいる子どもたち

【日本の教会】海外宣教者

ミサのうちにキリストの弟子として生きる原動力を

福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教

部分的な新しい日本語訳

大分前から言われているように、今月の27日からミサのいくつかの部分が変更されます。変わるところは少ないですが、新しいことばになれるまで少し時間がかかると思います。今まで、様々な説明や研修等が行われてきましたので、皆さんは十分に準備ができていると思います。

新しい日本語訳は、ミサのことばの意味をより明確に表し、慣れたら共同体の祈りを助けると思います。司祭や典礼担当者の指導の下で心に響く典礼を行っていただきたいと思います。

ミサは「感謝の祭儀」

言うまでもなく、一番大切なのはミサで記念しているイエスの死と復活の神秘を思い起こしながら、イエスとともに歩む決意を新たにすることです。ミサの中で、みことばを聴き、ご聖体を通してイエスのいのちをいただき、共同体の交わりを深め、福音を証しし宣べ伝えるように派遣されます。「感謝の祭儀」のうちに、キリスト者として生きる原動力をいただきます。

ミサのいくつかの部分で日本語訳が変更されることを受け、私たちは感謝の祭儀の意味を再認識し、ミサに与る恵みを心から感謝しましょう。

ヨハネの福音書で、最後の晩餐に臨むイエスの心境が伝えられています。「過越祭の前のことである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた」(ヨハネ13・1)。

ミサの中で記念する主の死と復活は「愛の神秘」です。まず、このことを心に留めて、ミサに与る必要があります。

イエスは、人々を生かすために、人々を神のうちに永遠のいのちに導くために、御自分のいのちを与えられました。それは、その時イエスと一緒に食卓を囲んでいた人々のためだけではなく、いつまでも人々を生かすためにいのちを与えられたのです。

教会は、その時からイエスの死と復活の記念を行ってきました。感謝の祭儀です。ごミサを通して、イエスは私たちを生かし続けます。偉大な神秘であり、愛の神秘です。

人を生かすために与えられたイエスのいのちをいただく者は、人を生かすために生きるはずです。自分自身が人々を生かす「裂かれたパン」になるように招かれています。イエスのことばに従い、「イエスの記念を行う」ことによって、現代社会において「イエスの記念になる」使命を与えられています。

ミサの中で私たちは、みことばとご聖体によって養われます。また、心を清めていただき、兄弟姉妹との交わりを深めます。毎週日曜日の「感謝の祭儀」に与ることは大きな恵みであり、生活全体を支えることです。

ミサに与る恵み

コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ミサに与る機会が少なくなりました。最近、行政は様々な制限を解いて感染政策を緩和してきています。これを受けて各小教区でも、今までのコロナウイルスに対する取り組みを見直して緩和していかなければなりません。信徒は、ミサに与ることができるように工夫していただきたいと思います。

待降節の第一日曜日から使い始める新しいミサ式次第が、私たちにとって、感謝の祭儀をより深く生きるきっかけになればと思います。

ヨゼフ・アベイヤ

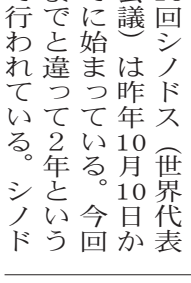
(2面に典礼委員会より関連記事あり)

第5回「貧しい人のための世界祈願日」
年間第33主日　2022年11月13日

いつくしみの特別聖年（2015年12月8日～2016年11月20日）の閉年にあたり公布された使徒的書簡『あわれみあるかたと、あわれな女』(2016年）で教皇フランシスコは、年間第33主日を「貧しい人のための世界祈願日」とするよう定め、毎年教皇メッセージが発表されます。

ご自分を小さい者や貧しい者と等しい者とみなされたキリストに倣い、私たちが恵みとして与えられた糧を「私たちのもの」として、貧しさや抑圧に苦しむ人々のためにふさわしく用いることができますように。

2022年11月20日（王であるキリストの祭日）
第36回「世界青年の日」



1984年、あがないの特別聖年に、教皇ヨハネ・パウロ二世は大十字架（380cm）を聖ペトロ大聖堂の祭壇脇に設置し、それを「主イエスの人類への愛のしるし」として青年らに託しました。以来、この十字架は巡礼のシンボルとして諸国を旅しています。

翌1985年、国連が定めた「国際青年年」の受難の主日に、青年らはこの十字架とともに教皇のもとに集まり、教皇は毎年受難の主日を「世界青年の日」として祝うよう定め、教皇メッセージも発表されるようになりました。以後、2～3年に一度WYD（ワールドユースデー世界青年の日大会）が開かれるようになりました。次回のWYDは2023年ポルトガルのリスボンで開催されます。

WYDリスボン大会シンボルマーク

2020年に教皇フランシスコは、各方面の要望を踏まえ協議を重ねた結果、2021年より世界青年の日を「王であるキリストの祭日」に変更されましたが、祝われる日が変わっても、この日の中心にあるのはつねに、人類のあがない主イエス・キリストの神秘です。

WYDリスボン大会（外部リンク：カトリック中央協議会）

時の話題

日本での宣教

私が韓国のソウル大司教区から福岡教区に派遣されて3年8ヶ月が経ちました。私はまず日本語学校に通い、その後、福岡市内にある茶山教会で協力司祭として1年間過ごしました。現在は、熊本市内にある手取教会と帯山教会で助任司祭として活動しています。まだ日本語や文化など学んでいかなければならないことが多く、色々足りないところが多いのですが、応援し、支えながら共にいてくださる方々のおかげで元気に過ごしています。

また、神様に出会おうとする方々にたくさんお会いしています。熱心に祈る方々、貧しい隣人を心配してくださっている方々、教会の共同体のために奉仕する方々など、主の愛の香りを伝えながら周りを明るく照らしている方々の中で神様の恵みを体験しています。このような人々が日本の教会にもっと多くなり、それぞれの教会共同体が活性化されるように願っています。

また日本人の司祭と修道者の召命が増えるように、多くの人がカトリック教会の信仰の宝物を悟り信仰を育てていけるように、さらに若者たちが正しい価値観を持って神様の愛を体験できるように共に祈ってほしいです。

最後に、海外宣教者を対象とする11月の日本の教会の意向に感謝申し上げます。意向の通りに「海外で宣教活動に従事する司祭、修道者、信徒が、厳しい状況にあっても、主に対する信頼と希望に支えられて、奉仕する力を保ち続けることができますように」と祈りをお願いします。自分が生まれ育った故郷と家族から離れ、他国で生活しているすべての人々に神様の豊かな恵みを祈り求めます。

手取・帯山教会
助任司祭
金 成千（キム ソンチョン）神父

第2回 福岡教区全司祭集会
変化に対応するために

大スクリーンを背に挨拶をするアベイヤ司教

9月27日（火）10時30分から16時まで、カテドラル大名町教会にて今年2回目の教区内全司祭集会が開かれた。この集会は年度内に4回開催が予定されている。

大聖堂に集い、「昼の祈り」を唱えて集会は始まり、始めにアベイヤ司教が挨拶に立った。挨拶の中で司教はシノドスと教区・地区の宣教司牧評議会に触れ、また教区の各委員会が充実するよう求めた。

第16回シノドス（世界代表司教会議）は昨年10月10日からすでに始まっている。今回は今までと違って2年という期間で行われている。シノドスのテーマは「ともに歩む」[シノドス的」教会のため～交わり、参加、そして宣教」だが、世界のそれぞれの場で、信徒、修道者、聖職者がどのような経験をし、困難に遭い、どのように聖霊に導かれているかを知るために、世界中から声が集められている（教区報7月号既報）。福岡教区でも宣教司牧方針を作る際に求めたアンケートをもとに報告文書を作成し、すでに提出している。（※10月16日「シノドスは2会期に分け、2024年にも開かれる」と発表された）

来年1月に教区の宣教司牧評議会が発足する。司牧訪問の時に「司教様を中心にがんばります」という声を聞くが、教会の中心はキリストとその福音であって、「司教様中心」ではない。人それぞれに与えられている使命は異なるもので、だからこそ、イエス中心に「ともに」歩む時、主の望まれる教会が実現していく。

宣教司牧評議会において広く信徒の声を聞きながら「福音に沿っているか」を識別の基準にしていきたい。

教区の委員会は広く信徒の協力を得て、目的を果たしていただきたい。委員会によっては、信徒が委員長を果たすこともできる。

以上のような司教の講話の後、教区会計の青木悟神父と経済問題評議会の岩村清貴氏より、教区財政の現状と課題の説明があった。

昼食後は、ミサ式次第の文言が11月27日より改訂されるのを前に、ミサをより深めるために寺浜亮司神父（吉塚・南粕屋教会主任）とアレッサンドロ・トゥルコ神父（島崎教会主任）の教会現場での体験が発表された。会衆が集まるための様々な工夫や、ともに讃美するための典礼音楽の必要性が説かれた。

その後、各グループに分かれて分かち合いを行い、全大会でその結果を発表し、聖体讃美式をもって閉会した。次回は11月22日（火）に開催される。

みちくさ

会議がいっぱい。世界レベルで、国レベルで、地域レベルで。教会でも、バチカンで、アジアで、日本で様々な会議が開かれている。教区でも、司祭や信徒の評議会や、いろいろな団体の定例会がある。小教区でも、信徒総会や教会委員会、典礼委員会や各活動団体の集まりがある▼個人レベルでみれば、一人の人が多くのグループに参加し、多くの役割を担い、多くの会議に参加している。これには偏りがあり、多くの人がそれぞれに様々な役割をもっているわけではない。一人の人の役割の負担が重くなっている。小教区でもその傾向が強い▼おまけに高齢化が進み、維持してきた「体制」を守り、続けることが困難になっている。役割の後を継ぐ人がいないので、同じ人が同じことを続けていくために苦労して悩む。負担が重く肩にのしかかる▼10月11日、第二バチカン公会議開催60周年の記念ミサが開かれた。教皇フランシスコは説教で次のように勧めた。過去を懐かしむノスタルジア、権力への執着を克服しなさい。エゴから出発するのではなく、神の愛に満ちたまなざしから出発しましょう。世俗の風に流されて時代の流行を追うことを止め、過ぎ去った世界を懐かしむ伝統主義にならないように、今の時代に愛の証しとなるように努めましょう▼60年前の公会議も、先日終ったばかりのアジア司教会議も、そして、2023・24年の秋のシノドスへの歩みも、現実を注視し、現実の声を「聴く」ことをもっとも大切にしている。すべての「会議」も観て、聴く視点からリセットされることが必要と思われる。（Y）

New "Foreign Language Section" is on page 4.　7月号より4面に「外国語コラム欄」をスタートしました。

福岡教区・教区報編集部

新しいミサ式次第について

典礼委員会

皆さん、2022年11月27日（待降節第一主日）より、ミサの式次第が第3版となり、ミサの言葉が新しくなります。この変更に向け「待降節第一主日」に間に合うよう早く準備しなければいけない、新しいミサで皆が間違わずに唱えなければいけない、と心配され、慌てておられる方は少なくありません。いきなり、変更になった言葉で間違わずに唱えることは難しいものです。約20年前に新しくなった「使徒信条」も覚えるのに時間がかかりました。

今回の変更にあたって、まず、ミサの言葉をゆっくりと読んでみてください。お子さんのおられる家庭では家族で練習してください。司祭の部分をお子さんに任せ、今まで先唱が唱えていた部分を唱えてみてください。読めない漢字や意味の分かりにくい言葉を家族で一緒に調べてください。今はスマホですぐ調べることができますよ。家庭での祈りの際に、新しいミサの祈りを唱えてみるのも、ミサの準備の祈りになります。どんなに読みやすい冊子を作り、プロジェクター等を使っても、変更された言葉で唱えるには時間が必要です。どのページを今唱えているのか、混乱される方もおられると思います。隣でページをめくる、一緒に唱える等、ご配慮をお願いします。また、各国語のミサ式次第が「カトリック東京国際センター（CTIC）」より出版予定です。外国から来られる方々のため各小教区でご検討ください。

大丈夫です。慌てないでください。一緒に準備していきましょう。

＊オリエンス宗教研究所 編『ともにささげるミサ（新訂版）―ミサ式次第 会衆用』770円（税込）

＊光明社 発行『ミサ式次第【会衆用】簡易版』110円（税込）

＊サン・パウロ社 発行『キリストとわたしたちのミサ』495円（税込）

＊資料は典礼委員会で用意します。

＊新しいミサの式次第をお持ちの場合はご持参ください。

※教区ホームページにも特設サイトを設けています。左記QRコードよりご覧いただけますので、どうぞご活用ください。

第2回「ミサの集い」

ミサ式次第の変更箇所とともに、いつも共に捧げている「ミサ」について学び、振り返る機会を持ちましょう。

○日時・11月6日（日）14時～16時
○場所・大名町教会1階講堂
○内容・感謝の典礼～閉祭

熊本地区宣教司牧評議会主催「大人のための研修会」を開催

10月10日(月)、手取教会(主任・櫻井尚明神父)で「大人のための研修会」が開催され、熊本地区14教会から128人が参加した。「主なる神よ、開かれた教会で信徒の皆さんがイエスのみ旨に沿った行動ができるようお導きください…」とのアベイヤ司教の祈りで始まった。

午前の部では、はじめに櫻井神父が『宣教司牧方針』の冒頭にあるマルコ福音（湖の上を歩く6章46～52節）と、それに続く解説の部分も朗読した。「私たちは『信仰を持って良かった』という喜びを多くの人に伝えたいのです…今日も共にいてくださるイエスに信頼をおき、福音の光を燈し続けたいのです…感謝、情熱、希望は私たちの歩みを導く光です…」ということばは、参加者一同の心に響いた。このみことばについて分かち合いを行った後、アベイヤ司教が、このたびの『宣教司牧方針』に至るまでの第二バチカン公会議後のカトリック教会の歩みを説明した。

午後の部では『宣教司牧方針』について説明された。まず、『宣教司牧方針』は目的ではなく、教会共同体が宣教者となるための道具であり、もっと大切なのは「キリストを伝えたい」という気持ちだと強調した。そして「教会共同体の魅力をどこに感じているか」、「誰に伝えたいか」、「そのために助けとなることは何か」、「それを妨げることは何か」についてそれぞれの教会で話し合うよう勧めた。最後に「私は、すべてにおいて宣教者である教会を、そしてキリスト教共同体における宣教活動の新たな時代の訪れを夢見続けています」というフランシスコ教皇の言葉を引用し、足りないことを反省するばかりでなく、夢をもって考える積極的な姿勢が大事と締めくくった。

研修会の終わりに挨拶に立った櫻井神父は、「司教様がいつもおっしゃるように、司教中心ではなくキリスト中心に、各教会共同体の一人ひとりが一緒に歩み福音を伝えていきます」と感謝を述べた。（報告＝手取教会・小野豊和）

福音に触れる喜びを伝えてください

多くの信徒が集った手取教会・聖堂

真命山　諸宗教者平和の祈り

10月2日（日）、真命山で第15回「諸宗教者平和の祈り」の集いが行われた。真命山が久しく友好を持ち協力し合っている九州北部地域の諸宗教の代表として、神道、天台宗、日蓮宗、浄土真宗、大本、天理教、立正佼成会から神主・僧侶・代表者が出席した。

キリスト教からは、ルーテル教会の牧師が参加し、また、聖ザベリオ宣教会日本管区・管区長フェリペ・ロペス神父が折よく来山中であり、この諸宗教者との友好と祈りの集いに参加した。

開会にあたり、参加各人に対してフランコノラ神父(聖ザベリオ宣教会)から挨拶があり、「各代表の皆様のそれぞれの宗旨に従い平和の祈りを順次行っていただくように」との説明があった。そして最後に参加者全員で、アシジの聖フランシスコの「平和の祈り―主よ、わたしをあなたの平和の道具としてください」を唱和した。

祈りの雰囲気は深く親愛に包まれており、その上言うまでもなく、現在悲劇が続くロシアとウクライナ間での戦争が、しかも増幅している状況に思いを馳せ、諸宗教者が平和実現のために働かなければならないという考えを特に深める祈りの集いであった。

平和に貢献する責任感を共有しながら、全出席者は記念簿に署名した。祈りの集いの終わりには、真命山に責任者として新しく着任したクラウディオ・コデノッティ神父(聖ザベリオ宣教会、玉名・荒尾教会主任)から出席者全員に対して感謝の言葉と、この集いが長く継続するように協力願いの挨拶があった。

その後、祈りの日の結びとして茶話会があり、好天にも恵まれ、戸外に机椅子を出して歓談した。とても和やかな雰囲気に包まれ、友好の絆を更に深めることができた。

報告＝マリア布教修道女会　デ・ジョルジ・マリア

神主・僧侶・牧師・神父たちの平和への祈り

2022年聖書週間（11月20日～27日）

聖書週間は、聖書に親しみ、聖書をより正しく理解するために、特に関心を持って取り組みを行うようにと始まった週間です。

今年のテーマは、フランシスコ教皇の回勅『兄弟の皆さん』より「あなたの隣人とはだれか」（ルカ 10･25-37）とされ、聖書のことばは「行って、あなたも同じようにしなさい」（ルカ 10･37 参照）と決まりました。

リーフレット『聖書に親しむ』を右記 QR コードからご覧になれます。今年の巻頭言はヨゼフ・アベイヤ司教です。

聖書週間から聖書習慣へ

教区報では、各小教区で行われている聖書を中心とした集いを紹介してきました。

今号では、熊本地区・菊池教会の「聖書の分かち合い」を紹介します。

聖書の分かち合い　菊池教会

主日のミサや平日ミサで、司祭が福音書朗読後説教をされますが、同じ箇所であっても司祭によってその伝え方が異なります。それは私たち信徒一人ひとりが聞いて、捉え方が違うのと同じだと思います。

菊池教会では前主任司祭･最頼厳流神父様と共に「聖書勉強会」を行っていましたが、4年前、現主任司祭のシルバノ・ダ・ロイト神父様が宮崎から赴任されて以来、毎月2回隔週水曜日に「聖書の分かち合い」と改めて続けています。既に100回に至っていますが、先に述べたように聖書の説き方も司祭によって異なり、それぞれに特徴、個性が表れます。それも貴重な体験だと思っています。

普段は一つの章、節を丁寧に何週にも亘って分かち合います。同じ箇所を繰り返し、繰り返し読んで内容を掴んで行きます。ですが、ある時の分かち合いでは、旧約聖書の「サムエル記上」2章（ハンナの祈り）を読んでいたのに急に新約聖書の「ルカによる福音書」1章（マリアの賛歌）へと、またその逆に、新約聖書から旧約聖書へと、矢継ぎ早に説明されるためついて行けない時もあります。しかしそれによって、旧約、新約が繋がっているのがよく分かります。今、分かち合っている箇所は「ルカによる福音書」10章25～37節です。「善いサマリア人」の短い例え話ですがこの箇所を4回、分かち合っていて、次回も続くようです。1回目は疲れました。司祭が風景、登場人物、動き（何時、誰が、何処で、何を）を次々に質問されるので気が抜けません。何故、サマリア人だけが善いことをしたのか。何故､祭司とレビ人は何もしないで行ったのか。色々な角度から深読みして文章を捉えていきます。

輪になって分かち合い

数千年の時を経ている聖書に触れていますが、全てが現代に当てはまります。今、各小教区の皆さんに共通している事は「次世代」のことだと思われます。聖書から学んだことを次世代に、そして更に次世代にと、主の慈しみによって、信仰が多くの人たちに受け継がれて行けば喜ばしいことだと思います。

菊池教会信徒　久米義一

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードホール
薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店　福岡メモリード 検索
0120-45-1616

別れ・出逢い・旅立ち
草苑〔SOU-EN〕
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

知りたい！ 福岡教区内の修道会 宣教会⑦

福岡教区には現在30の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。

今春より紹介している、その修道会や宣教会。第7回は、けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会です。

けがれなき聖母の騎士 聖フランシスコ修道女会

1917年、聖マキシミリアノ・コルベはローマで「聖母の騎士会」を創立しましたが、日本でこの精神を生きる女子修道会の創立を望み、1930年に弟子と共に長崎に渡来しました。師は6年間でその精神を植え付けて母国ポーランドに帰国し、アウシュビッツで殉教しました。そこで師の意思を継いで一緒に渡来したポーランド出身の司祭ミエチスラオ・ミロハナ師によって1950年に、聖母の騎士会の精神で生きることを目的とした「聖母の騎士修道女会」が長崎県諫早市小長井町に誕生したのです。

会員たちは、原爆・戦争孤児たちの世話をしていたコンベンツアル聖フランシスコ会が経営する養護施設でその世話を手伝いながら、同会の経営する老人施設、幼稚園でも手伝っていました。

1960年、福岡教区より佐賀県にある養護施設の事業を譲り受けました。当施設の開所から90年の長い歴史のうち61年間を奉仕し、2021年3月で閉園となり使命が終わりました。そして1961年、本会創立10周年記念の愛の事業として知的障碍児施設を創立しました。この最初の社会福祉事業を土台として使徒的活動が充実していき、61年経った今日では、日本、ポーランド、韓国、ベトナムで社会福祉事業を中心とした奉仕活動と医療事業、教育事業、出版事業、黙想の家、ラジオ放送において、会員は其々の使徒的活動分野で人々にキリストを伝える為に奉献生活に励んでいます。

アレグリーニ神父が眠る墓を囲んで

【最近のトピック】

長崎大司教区「元和の大殉教」400周年記念祭を前に、9月7日（水）イタリア・ルッカのパウロ・ジュリエッティ大司教が来佐し、ルッカ出身で長年佐賀で司牧した故アレグリーニ・アレグリーノ神父が眠る佐賀大和の墓地を訪ねました。1993年から1995年に佐賀新聞に連載した「心のシルクロード」で往復書簡を交わした浄土真宗の僧侶（伊万里市）が読経をあげられた後、ルッカそして長崎の大司教と共に讃美歌を歌い祈りを捧げました。生前関わりの深かった人々が、宗教の垣根を越えて故アレグリーニ神父を偲ぶ貴重な機会となりました。

けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会
ファティマの聖母修道院 院長　Sr. 大山雪子

九州青年キャンプ2022 in福岡教区 交流が深まったオンラインでの分かち合い

オンライン青年キャンプ

2022年9月17日（土）～18日（日）、九州青年キャンプが行われた。今年度は福岡教区が運営を担当。今回のテーマは、「Great to see you!」。福音にある通り、神様から招かれた存在である私たちにとって九州青年キャンプでの出会いが素晴らしいものになってほしいという思いを込めて設定した。

対面での実施のためにスタッフ一同で準備したが、7月から8月にかけての新型コロナウイルス感染拡大を受けて、分かち合いを経て、断腸の思いでオンラインでの実施を決断した。

オンラインでの実施を決定してから本番までの日数は短いものだったが、各係で一生懸命準備をし、①脱出ゲーム「放蕩息子からの脱出」②グループごとの分かち合い（テーマ：どんなときの自分が好きか、など）③テゼの祈り④ミサ　などのプログラムを行うことができた。参加者は福岡教区の青年が大半を占めたが、大分教区の青年や、長崎大司教区の司祭にも参加いただき、オンラインとはいえ、久々に青年間の交流を深めることができたと思う。

コロナ禍が長引き、行事も自粛傾向にある今日だが、今回オンラインという形でも九州青年キャンプを行えたことで、これまでとは形を変えても、神様が導いてくださった私たち青年同士のつながりというのは維持されるということを改めて実感した。これから福岡教区の青年たちはネットワークミーティングも予定している。引き続きお祈りいただけると幸いである。

九州青年キャンプ2022
代表　林田明日香
大名町教会

神学生・コレジオ生らと集う 秋のソフトボール大会開催

初めてのソフトボールに挑戦の女の子。
「湯浅俊治神父様（神学院）、優しく投げて！」

今春、雨で中止となった「神学生と集うソフトボール大会」は、10月10日（月・スポーツの日）、前日からの雨も何とか上がり、競技者・応援・準備・昼食作り手伝いを合わせ、司祭・信徒入り交じっての老若男女総勢60人が福岡カトリック神学院に集結しリベンジを果たした。

お気に入りの選手（？）への黄色い声援に、手製プラカードも掲げ、勝敗は関係なく和気合いあい。小さな子どもたちは隣の丘で草スキー。そして昼食では、今年から神学校に来られた「お告げのマリア修道会」のシスターや各教会の婦人会が用意した手作りの料理が振舞われ、あちこちで親睦の輪が広がっていた。

試合は、チームを3つに分けての総当たり戦で行われ、Aチーム（大名・水巻）2勝、Bチーム（笹丘・古賀・糸島）2敗、Cチーム（茶山・西新・光丘）1勝1敗で、Aチームが優勝した。

最終戦では、応援に徹していた神学院・院長の牧山強美神父や、教区本部事務局長の青木悟神父、そしてシスターも「ピンチヒッター」で飛び入り参加。特に、牧山院長の快心の一打を、十時伸治神父（光丘教会主任）がアウトにし、牧山院長の「覚えとけよ！」の茶目っ気たっぷりの捨てゼリフに一同大爆笑であった。

午後には陽も差しはじめ、天から神の笑い声も聞こえてきそうな楽しい1日に、「次回もまた」、「今度はソフトボールだけでなく、スポーツなどの意見も交わされながら閉会となった。

シスターもハッスル！

コロナ禍での 医療従事者の現状 後編

新型コロナウイルスが襲来してほぼ三年経ち、今や第7波を迎えている。久留米市の聖マリア病院は、コロナウイルス感染の最前線で患者と向き合っている医療機関の一つ。その中で治療や療養に直接携わっている看護師たちの日々の悲喜こもごもを探った。

後編では、看護師の玉田朱里（あかり）さんが自らの体験談を伝える。

個人用防護具着衣所
（久留米市の聖マリア病院内）

長く真っ白な院内の廊下の突き当りにたどり着く所、二重扉を開けると目の前にナースステーションがある。カウンターの内側は、数人の看護師が電話で話したり、パソコンを操作したりしてあわただしさそのもの。一見するとどこにでもある病棟に見えるが、その奥は、まるで建設現場かのようにコーンとコーンバーが置かれ完全に仕切られている。いわゆる「感染ゾーン」に入るため、個人用防護具を装着する必要がある。ここは「コロナ病棟」。

案内係は聖マリア病院の看護師、玉田朱里さんだった。新設された2020年4月から「コロナ病棟」に所属している看護師の一人。第1波のとき、コロナウイルスは未知の病気だったため、一般的なケアの一部が十分できないほどの制限の中で仕事をしたという。

玉田さんは「最初は、（感染経路などが特定されていなかったため）患者さんと接触するのを極力避ける状況だった」と、不満と不安の原因を明かす。

当時は、シャワーを浴びさせることなどの、従来は日常的に提供するケアすらできなかった。その理由は、シャワーなどの水しぶきが看護師に飛んできて、コロナが感染する恐れがあったためである。患者やスタッフを守るために徹底された感染防止対策に沿って、お湯で濡らしたタオルで髪や体を拭いてあげることしかできなかった。

当時を振り返る玉田さんは「してあげて当たり前のことができなくて、すごく葛藤した時期だった」と話す。

現在、特別の制限が徐々に緩和され通常の「必要な患者に必要なケア」ができる状態に戻りつつある。

「看護師として患者のケアが一番大切なので、今はそれを誇りに思うし、やりがいを感じる」と、玉田さんが笑顔で話す。※看護師・玉田さんのインタビュー動画を下記QRコードから視聴できます。

やりがいある日々を言葉にする玉田朱里さん

BOOK 読みは専科

☆主日の福音を生きる〔A年〕 ―日々の生活をみことばとともに―

レナト・フィリピーニ、水を運ぶ七人の信徒（著）

本書は宣教師のレナト神父（聖ザベリオ宣教会）が、7人の信徒と共に、A年（今年の待降節の主日から）用に執筆したもので、毎日曜日に読まれる福音を日々の生活の中で、どのように味わい、生き、証ししていくことができるのか、福音に支えられた一週間を過ごすための道案内の書になっている。

サンパウロ発行
税込価格1320円

広告掲載をご希望の方は
下記までお問い合わせください
福岡教区本部事務局　広報部
電話　：092-522-4059
メール：cdf-kouhou@nifty.com
※この枠で1回（ひと月）5,000円の献金（目安）をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322　FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522　FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
ご一緒に働いてみませんか
URL：http://www.st-mary-med.or.jp/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山7-91　TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

サンパウロ
福岡宣教センター
レジナ アポストロールム
営業時間：
10：00～18：00（日曜日～16：00）
定休日：火曜日、祝祭日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 ／fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

年間目標　キリストの愛に駆り立てられて 人々と共に歩む教会

みのりの秋・西原村の新米

10月9日（日）、「下り坂」という天気予報が心配されたが、雨には邪魔されず西原村で稲刈りが行われ、武蔵ヶ丘教会学校の子どもたちが参加した。

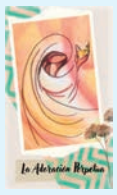
6月の水田時には「おたまじゃくし」であったであろう、成長した大量の小さな蛙たちを踏まないように、稲刈り、時々蛙つかみ！ではしゃぎながら楽しく作業。お昼には西原村と熊本地区女性の会で作成したお弁当に舌鼓を打ち、秋の1日を満喫した。

熊本の震災以来紡いできた縁は、毎年大きな秋の実りとなって、今年もまた各小教区に届けられる。

稲刈りより蛙に夢中！？

＊お米の注文は各小教区に送付される注文書でお申し込み下さい。
右記ＱＲコードからも注文書はダウンロード出来ます。

聖体といやしの家



忙しい毎日の中、ご聖体のある家でミサと礼拝のある今を過ごしてみませんか？必要があればシスターや社会福祉士が同伴できます。
「詳細は事前に電話でお話ししましょう」
礼拝会（福岡市中央区）
Tel 804・735・6971

―みことばのお弁当―
今年度テーマ「福音の女性たちと共に」

日　時：11月10日（木）10時～13時
内　容：出血病の女性
同伴者：レナト・フィリピーニ神父
（宣教・養成委員会　信徒養成担当）
場　所：大濠カトリック会館
福岡市中央区大濠1-7-14
電　話：080・9101・8717（申し込み不要）

※お弁当は各自持参で

―お詫びと訂正―

教区報10月号1面　「小倉教会献堂祝別式」の小倉教会の歴史について。
×「戦時下に倒壊した」
○「戦争末期、時の行政の手で取り壊された」
が正確な史実です。関係者の皆さまにはご不快な思いをおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し

ウクライナ報告「戦争と人間の安全保障」

3月中旬、ロシアの侵攻を受けるウクライナ北西部に入った牧師。彼が見た現地と、追い詰められた人々の苦悩…。その報告会が開催されます。

戦場のピアニスト
（爆撃で壊れたピアノを弾くウクライナ軍領土防衛隊員）

日時：11月26日（土）13時30分～
場所：カテドラル大名町教会1階講堂
講師：木村光一（日本バプテスト連盟・福岡国際教会牧師）
主催：カトリック福岡教区・正義と平和協議会
共催：福岡地区信徒使徒職協議会・社会福音ネットワーク福岡

真命山諸宗教対話センター　－祈りの集い－

年間テーマ：イエス様のように祈る
日　　時：11月10日（木）10時～15時
内　　容：「イエスは天を仰いで言われた。父よ…」（ヨハネ17・1）
指 導 者：S.フランコ神父（聖ザベリオ宣教会）
問合せ先：真命山諸宗教対話センター
次　　回：12月8日（木）
「天におられる、私たちの父よ…」（マタイ6･9）
☎0968・85・3100　FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail　shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします（要予約）

11月のこよみ

5日（土）　大牟田明光学園・70周年記念ミサ
6日（日）　年間第32主日　東京修道女連盟研修会
†K.ウーリック（2013年 泰星学園）
8日（火）　†M.マッコンネル（2005年 手取教会）
9日（水）　ラテラン教会の献堂　顧問会
10日（木）　常任司教委員会
11日（金）　朝祷会・全国大会　手取教会
13日（日）　年間第33主日　貧しい人のための世界祈願日
小倉教会・堅信式
16日（水）　†アントニオ浦口均（2007年 老司教会）
17日（木）　†セバスチアノ川添猛（2017年 帯山教会）
20日（日）　王であるキリスト　世界青年の日
行橋教会・堅信式
聖書週間（～27日まで）
21日（月）　神学院感謝祭
22日（火）　第3回　教区全司祭集会
23日（水）　福岡・大分教区　司祭ソフトボール大会
†E.ウィリアム（2016年 古賀教会）
26日（土）　†R.マグリン（2008年 聖マリア病院）
27日（日）　待降節第1主日新しいミサ式次第と第一～第四奉献文」への移行開始　湯川教会司牧訪問
†M.C.ハイメ（2003年 トラピスチン）
28日（月）　長崎教会管区・司教会議　沖縄（～29日）
30日（水）　聖アンデレ使徒
†アンジェロ春山勝美（2007年 高宮教会）
【12月】
1日（木）　常任司教委員会
3日（土）　日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル司祭
4日（日）　待降節第2主日　宣教地召命促進の日（献金）
戸畑教会司牧訪問

■ゴチックは司教日程

◆福岡

内容詳細は問合わせ先にお尋ねください。感染症の状況によっては開催が中止となる場合もあります。

■震災のための祈りのリレー　140ヶ月目〔日時〕11月11日（金）ミサ10時～／夕の祈り16時～〔場所〕高宮教会〔問合せ先〕☎070・2820・9613 Br.阿部（パウロ会）
■福岡チェナクルム〔日時〕11月16日（水）10時～〔場所〕大楠教会〔問合せ先〕☎090・5021・5907菊池
■師イエス祈り会〔日時〕11月18日（金）10時ミサ後〔場所〕高宮教会・小聖堂〔問合せ先〕☎090・7468・3631西田
■福岡召命を共に祈る会　※巡礼・熊本地区と合同で。〔日時〕11月21日（月）11時～召命祈願ミサ〔場所〕佐賀教会〔問合せ先〕☎092・921・4532山口
■跣足カルメル在世会・11月総選挙集会〔日時〕11月21日（月）10時～15時〔場所〕大名町教会（午前2階大聖堂・午後1階講堂）〔問合せ先〕☎092・861・4802海江田
■福岡ホスピスの会「がん」を通し人生を語る会・がん哲学外来「ぬくみカフェ」①11月26日（土）14時～16時30分〔場所〕サンパウロ福岡宣教センター3階〔問合せ先〕☎090・1162・6395柴田
■子どもを亡くした親の会「虹の会」12月3日（土）11時～14時〔場所〕未定＊参加費1500円（昼食代）〔問合せ先〕☎右に同じ・柴田
■聖霊による刷新・福岡祈りの集い〔日時〕毎週月曜日11時～12時30分〔場所〕大名町教会1階講堂〔問合せ先〕☎092・521・2503蓮尾
■カトリック大名町教会「キリスト教講座」第Ⅱ期テーマ「キリストとの出会い」全15回〔日時〕12月3日より毎週土曜14時～16時〔場所〕大名町教会1階講堂〔問合せ先〕☎092・741・3687大名町教会
■美野島司牧センター　○ホームレスの方にあたたかい食事と衣類　毎週火曜日10時～　○ホームレス支援炊出し　調理　第1・3金曜日14時～夜回り　20時から　○路上からアパートに入居した方を訪問　第3土曜日14時〔問合せ先〕☎092・431・1419コース・マルセル神父
■セコの会〔日時〕毎週水曜日10時30分～16時〔場所〕福岡市南区塩原4丁目25　高木橋横の日本家屋〔問合せ先〕☎090・7927・3636永田

◆北九州

■北九州召命を共に祈る会〔日時〕11月10日（木）14時～召命祈願ミサ〔場所〕小倉教会〔問合せ先〕☎092・941・7415・3687大名町教会

◆熊本

■熊本地区召命を共に祈る会　※巡礼・手取教会8時出発〔日時〕11月21日（月）11時～召命祈願ミサ〔場所〕佐賀教会〔問合せ先〕☎0969・79・0015崎津教会主任・浦川務神父

編集後記

お知らせ＝活動が増え始めました。「withコロナ」いえ、「with神様！」（W）

GIÁO XỨ KURUME VÀ NHỮNG NGƯỜI CON VIỄN XỨ
カトリック久留米教会と離国者
Joseph　Nguyễn Văn Nam（Viet Nam）

SỐNG ĐẠO @ KURUME là nhóm các bạn trẻ thực hành sống đức tin Công Giáo tại Giáo xứ Kurume, khởi đi từ năm 2017, với Thánh Giuse Thợ làm đấng bảo trợ, và lối sống "khiêm nhường - phục vụ."

Theo thống kê năm 2019, nhóm có hơn 300 thành viên. Chúng con nhận thức rằng, đức tin được nuôi dưỡng bằng chính ngôn ngữ mẹ đẻ sẽ giúp cho đời sống đạo trưởng thành cách toàn diện; như thế thật là hữu ích không chỉ cho bản thân chúng con, mà còn cho giáo hội và xã hội Nhật Bản nữa. Bên cạnh Thánh Lễ tiếng Việt vào Chúa Nhật I hằng tháng, chúng con còn tổ chức học Chuẩn bị Hôn nhân, lớp Giáo lý dành cho người dự tòng, lớp tiếng Nhật, etc. Vào các Chúa Nhật khác, chúng ta tham dự các Thánh Lễ tiếng Nhật và cống hiến sức trẻ của mình cho các hoạt động chung của Giáo xứ.

Sau một tuần làm việc vất vả, việc đến Nhà Thờ gặp gỡ Chúa và anh chị em, cùng nhau sống đạo và nâng đỡ nhau trong yêu thương, có ý nghĩa rất lớn đối với mỗi người chúng con. Có thể nói, SỐNG ĐẠO @ KURUME là gia đình thứ hai của chúng con ở Nhật Bản.

Ý thức mình là một thành viên của gia đình hội thánh địa phương, chúng con đã, đang và sẽ mang sức trẻ, lòng nhiệt thành của mình để đồng hành và góp phần mang lại hoa trái thiêng liêng cho tất cả mọi người. Ước mong rằng, khi trở về quê nhà, SỐNG ĐẠO @ KURUME không chỉ là nơi ghi lại những kỷ niệm tuyệt đẹp, mà còn trở nên hành trang không thể thiếu trên bước đường tương lai của chúng con.

"SONG DAO（ソン ダオ）（信仰生活を送る）@ KURUME" は、2017年から久留米教会で労働者聖ヨセフを守護聖人とし、「沈黙のうちに謙遜な心を持つ奉仕者」の模範に従い信仰生活を送っています。筑後地区に300人以上のベトナム人信徒（2019年調査）がおり、私たちの信仰生活が母国語で豊かに養われていけば、日本の教会や社会にも豊かな実りをもたらすと思っています。第一主日はベトナム語ミサや入門講座・結婚講座・日本語クラスがあり、他の主日には日本語ミサや教会の活動に参加します。神様との交わりの中で信仰活動を支え合うSONG DAO @ KURUMEには第二の家族のような安心感があります。また、久留米教会の一員として教会全体の実りある信仰活動・信仰生活のために、私たちは神から頂いた能力や若さを発揮したいです。母国に帰る時には、SONG DAO @ KURUMEが思い出だけでなく宝物として私たちの心に刻まれると信じています。

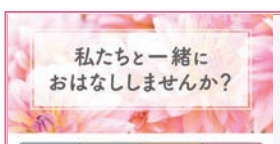
献金だけでなく
果物や香、花なども奉納します

福岡教区・広報室から

皆様のベストショット（風景や季節の植物、動物etc）や、イラストをお寄せください。趣味で撮影された写真や書き溜めたイラスト（カトリック関係のもの以外でも、景色や似顔絵etc）など大歓迎！教区ホームページの「音声説教」の背景写真や、教区報の挿絵、教区内（小教区、修道会、関係各所含む）配布の刊行物などに使用させていただきます。

作品は誰でも使用できる「著作権フリー」の素材としてご提供をお願いいたします。**広報室へメールに添付いただくか、直接郵送**のどちらでも構いません。

カトリック福岡司教区 広報室〈cdf-kouhou@nifty.com〉
〒810-0028　福岡市中央区浄水通6-28　カトリック福岡司教区本部事務局 広報部



10代～40代のみなさま
こんな悩みをお持ちでないですか？
相談は無料です。
必要に応じて専門機関の情報提供もいたします。ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

安心してお話が出来る人をお探しの方へ。
メール：hanahanahimawari2020@gmail.com
☎：080-4735-6971（9:00－21:00）
※対応できないときもあります。
※原則1回30分です。
LINE　右記QRコード
―ぶろじぇくとHana―
ぶろじぇくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している、礼拝会を中心としたグループです。

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話　080-2694-4182
受付時間　月～金（祝日を除く）
10:00～12:00　13:00～16:00